

2025 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社アルファ  
代表者名 代表取締役社長 岡本 悟征  
(コード番号 4760 東証スタンダード  
名証メイン)  
問合せ責任者 取締役執行役員総務部、情報  
システム室、経営企画室担当兼経営企画室長  
高尾 宏和  
(TEL 086-277-4531)

## 上場維持基準の適合に向けた計画(改善期間入り)に基づく進捗状況について

当社は、東京証券取引所（以下「東証」といいます。）スタンダード市場および名古屋証券取引所（以下「名証」といいます。）メイン市場に上場しておりますが、2022 年 11 月 11 日に「スタンダード市場の上場維持基準の適合に向けた計画書」を提出し、その内容について開示しております。

この度、東証より「上場維持基準（分布基準）への適合状況について」を受領し、改善期間入りしていることから、当社の基準日である 2025 年 8 月 31 日時点における計画の進捗状況等を下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況、計画期間及び改善

当社の 2025 年 8 月 31 日時点における東証スタンダード市場への適合状況は以下のとおりとなっており、流通株式時価総額について基準に適合しておりません。なお、流通株式時価総額基準について、2026 年 8 月 31 日までの改善期間内に適合していることが確認できなかった場合には、東証より監理銘柄（確認中）に指定されます。その後、当社が提出する 2026 年 8 月 31 日時点の分布状況表に基づく東証の審査の結果、流通株式時価総額基準に適合している状況が確認されなかった場合には、整理銘柄に指定され、当社株式は 2027 年 3 月 1 日に上場廃止となります。

また、名証の上場維持基準は東証の当該基準とは異なるものであり、2027 年 3 月 1 日時点で名証の上場維持基準に充足している場合は、名証メイン市場の上場は維持される予定です。

		株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式 比率
当社の適合状況 及びその推移	2021 年 6 月末時点 (移行基準日時点)	562 人	3,425 単位	5.0 億円	37.4%
	2022 年 8 月末時点	556 人	3,496 単位	4.3 億円	38.2%
	2023 年 8 月末時点	598 人	3,485 単位	3.7 億円	38.0%
	2024 年 8 月末時点	660 人	3,518 単位	5.9 億円	38.4%
	2025 年 8 月末時点	563 人	3,644 単位	7.3 億円	39.8%
上場維持基準		400 人	2,000 単位	10 億円	25.0%
適合状況		適合	適合	不適合	適合
計画期間（改善期間）		—	—	2026 年 8 月末まで	—

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

## 2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

### (1) 基本方針

当社は、「伝える・伝わる・笑顔になる」をPOWER OF POPで実現する。”というビジョン実現に向けて事業活動を進めております。そして、消費者・ショッパーに消費財を創出するメーカー、購買機会を提供する流通小売業とともに、消費者・ショッパーが心から“欲しい”そして“買いたい”と想う気持ち・笑顔を、未来にわたってつくり続けたいと考え、“「買いたい」をつくり続ける。”をミッションとして、企業活動を行っております。

そして、“伝わるPOPコミュニケーション” 創造企業として、需要と供給をつなぐ“出会いの場”でのPOPの可能性を追求し、その事業領域の拡大を目指しており、「業績目標数値の達成」「株主還元の充実」「IR活動の充実」に取り組んでおります。

当社製商品の付加価値を高めデジタル販促分野を強化していくことで、当社の更なる成長と企業価値の向上により上場維持基準への適合を図ってまいります。

### (2) 課 題

当社は、「流通株式時価総額」が基準に到達していないことの大きな理由として、業績の伸長が十分でないことを原因として株価の低下を招いているものと分析しております。従いまして流通株式時価総額の上場維持基準適合に向けて、今期の業績目標数値を達成し3期連続黒字を確保する中、株価の改善を図っていくことが当社としての最重要課題と考えております。

### (3) 取組内容

#### ①売上増加にかかる具体的取組み

- ・SM（スーパーマーケット）・メーカー・その他の顧客の増注可能先に対する営業活動量を増加させ、売上拡大を図ってまいります。
- ・POP GALLERYオンラインショップ（WEB受注）の機能強化と外部ECサイトの拡大を図り、売上の増加を引き続き図ってまいります。
- ・POP作成アプリのPOPKIT事業において、Android版の取扱開始などの取組みにより、有償利用者数の増加を図り着実な売上高増加を実現させてまいります。

#### ②業績目標数値の達成

当社は、更なる成長と企業価値の向上を図るために、安定した売上高並びに営業利益を確保し投資家皆様の信認を得ることが、流通株式時価総額を高めることができる最善の方策のひとつと考えております。そのため改善期間の最終となる2026年8月期における下表のグループの売上高・利益目標数値を達成し、有効な配当政策を実施していくことで投資家の皆様からの高い評価をいただくよう努力してまいります。

グループの売上高・利益目標（計画）

（単位：百万円）

項目	2025年8月期 (実績)	2026年8月期 (計画)
売上高	6,365	6,600
営業利益	234	260
売上高増加額（前期比）	240	235
営業利益増加額（前期比）	120	26

#### ③コーポレート・ガバナンスの充実

##### ・IR活動の充実

持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図る観点から、引き続き情報開示の充実を進めるとともに、株主・投資家の皆様との積極的な対話を促進し、当社の企業価値の向上及び株主様への利益還元等に関するご意見を経営に反映してまいります。

以 上